

平成 27 年度及び第 2 期中期目標期間に係る部局達成状況評価

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 附属図書館 | 26. 接合科学研究所 |
| 2. 文学研究科・文学部 | 27. 低温センター |
| 3. 人間科学研究科・人間科学部 | 28. 超高压電子顕微鏡センター |
| 4. 外国語学部 | 29. ラジオアイソトープ総合センター |
| 5. 法学研究科・法学部 | 30. 環境安全研究管理センター |
| 6. 経済学研究科・経済学部 | 31. 国際教育交流センター |
| 7. 理学研究科・理学部 | 32. 生物工学国際交流センター |
| 8. 医学系研究科・医学部（医学科） | 33. 太陽エネルギー化学研究センター |
| 9. 医学系研究科・医学部（保健学科） | 34. 総合学術博物館 |
| 10. 医学部附属病院 | 35. 保健センター |
| 11. 歯学研究科・歯学部 | 36. 国際医工情報センター |
| 12. 歯学部附属病院 | 37. コミュニケーションデザイン・センター |
| 13. 薬学研究科・薬学部 | 38. 数理・データ科学教育研究センター |
| 14. 工学研究科・工学部 | 39. 科学機器リノベーション・工作支援センター |
| 15. 基礎工学研究科・基礎工学部 | 40. グローバルコラボレーションセンター |
| 16. 言語文化研究科 | 41. 日本語日本文化教育センター |
| 17. 国際公共政策研究科 | 42. 環境イノベーションデザインセンター |
| 18. 情報科学研究科 | 43. ナノサイエンスデザイン教育研究センター |
| 19. 生命機能研究科 | 44. 知的財産センター |
| 20. 高等司法研究科 | 45. 核物理研究センター |
| 21. 連合小児発達学研究科 | 46. サイバーメディアセンター |
| 22. 微生物病研究所 | 47. レーザーエネルギー学研究センター |
| 23. 産業科学研究所 | 48. 免疫学フロンティア研究センター |
| 24. 蛋白質研究所 | 49. 全学教育推進機構 |
| 25. 社会経済研究所 | 50. 教育学習支援センター |

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 附属図書館

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、総合図書館グローバル・コモンズにおける試験期の24時間開館の継続実施、理工学図書館における拡充したラーニング・コモンズのオープン、外国学図書館におけるAVコモンズの新設、総合図書館での基礎セミナー「はじめてのアカデミック・ライティング」の開講及び図書館全体のアクティブ・ラーニングスペースにおける各種講習会等の開催など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、各図書館において一般市民も含めた学外者への資料閲覧及び貸出事業を継続した他、いちよう祭での施設公開、学外者が参加可能なクリスマスコンサートの開催、中学生の職場体験の受入れなど、積極的な社会貢献活動を実施している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、公益財団法人図書館振興財団の助成金を獲得し、本学貴重資料である「懷徳堂文庫」の一層の活用推進のため、特に重要な歴史資料についてデジタル画像化と目録の整備を行い、「懷徳堂文庫」データベースとして公開するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 また、引き続き電子ジャーナルを提供し、電子情報へのアクセスの利便性を高め、機関リポジトリの拡充に努めるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、総合図書館グローバル・コモンズの試験期間24時間開館の継続実施、外国学図書館におけるAVコモンズの新設、「懷徳堂文庫」のデータベース化など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:文学研究科・文学部

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」が開始され、また、研究科独自の取り組みとして、タンデム学習プログラムを運営し、留学生と日本人学生の交流と相互の語学学習支援を推進している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、国文学研究資料館が推進する「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワークの構築計画」に参加・協力するとともに、部局内の共同研究組織である「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築」クラスターと連携させて国際シンポジウム『読みたい！日本の古典籍-』を開催するなど、積極的に取り組んでいる。 また、研究成果として、くずし字学習支援モバイルアプリ”KuLA”を作成・公開したことで、マスメディアに広く取り上げられるとともに、1万回以上のダウンロードを記録するなど、注目度の高い研究を推進しており、大学の実績として評価できる。 また、教員公募要項において女性研究者の積極的な応募の呼び掛けや、教授会等における積極的な女性の登用や採用についての啓発を行い、平成28年4月1日付けで、3名の女性教員を採用するなど、女性研究者の活躍の場を積極的に提供している。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、文学研究科をハブとした人文学における日本研究の包括的ネットワークの構築を目的として、ドイツ・ハイデルベルクにおいて、ハイデルベルク大学との共同シンポジウムを開催するとともに、同シンポジウムの平成28年度及び29年度実施に向けて海外研究機関との準備を進めるなど、積極的な国際交流活動を推進している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、研究科内外で女性研究者の積極的な採用に向けた取り組みを進め、平成28年4月1日付で3名の女性研究者を採用したことや、研究科のサバティカル制度に女性教員枠を設けたことなど、女性研究者の研究環境向上に積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の開始、くずし字学習支援モバイルアプリ”KuLA”の作成・公開、研究科サバティカル制度における女性教員枠の設定など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 人間科学研究科・人間科学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」が開始され、また、国際化に対応するために、外国語試験に英語外部検定試験を一部導入したほか、英語力向上セミナーを独自に実施し、TOEIC-IPテストにおいて受講者のスコアが平均64点上昇するなど、学生の英語力向上に寄与した。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、日英の12大学によるRENKEIプログラムに参加し、超高齢社会に貢献できる人材を養成することを目的としたプログラムを2年間にわたり実施することとなったほか、和雑誌等に掲載された11編を英訳した英語学術雑誌『Osaka Human Sciences』第2巻の出版、ならびに人文・社会科学系研究成果の国際的発信支援プログラムを利用し、2冊の著書の翻訳を行うなど、研究成果の国際的発信が進められている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、震災復興に関わる社会貢献活動として、「レクイエム・プロジェクト気仙沼2015」を企画・実施し、300人以上を動員する等、積極的に取り組んでいる。また、国際交流についても、カリフォルニア州立大学との共同研究での新たな取り組みとして、ネットワーク解析を導入し、脳機能データについての検討を行うとともに、ヨーロッパの大学から計3名の教員を招へいし共同研究を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、ミッション再定義に基づき、約3割弱の教員が所属学系を移動して、従来の2専攻5学系から、1専攻4学系体制にすること、及び未来共創センターの新規設置を申請し、認可を得るとともに、新組織発足に備え、箕面キャンパスにあった12教員全員の研究室、大学院生室などをすべて、吹田キャンパス人間科学棟に移すなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の開始、RENKEIプログラムへの参加、英語学術雑誌の出版等による研究成果の国際的発信、被災地での社会貢献活動の実施、教育研究組織の見直しなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、上回って達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 外国語学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の開始(32名の外国語学部生が、文系4学部(文・人・法・経)の副専攻プログラムを履修)、アカデミック・イングリッシュ・サポートデスクのトライアル実施(90名が受講)、部局横断的プログラム「広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業ーカップリング・インターンシップによる実践型グローバル人材形成」の実施など、学際性豊かな教育を推進している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、外国語学部同窓会の支援・協力を得て語劇祭を実施し、語学教育の成果を広く一般市民にも公開するなど、積極的な社会貢献活動を推進している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の開始、「スーパーグローバル大学創成支援事業」の一環として、アカデミック・イングリッシュサポートデスクのトライアル実施、語劇祭の実施など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 法学研究科・法学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、学部教育と高等司法研究科における教育との接続として、高等司法研究科の教員が担当する「法曹養成プレゼミ」をロースクール進学希望者向けに新規開講し、博士課程のダブルディグリープログラムを新たに締結するなど、積極的に取り組んでいる。 さらにスーパーグローバル大学創成支援事業の一環である「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」を実施するなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、サバティカル制度について、従来の6ヶ月を延長し、1年間のサバティカルを認めることとし、条件等を整備するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、附属法政実務連携センター内に「行政研究会」を発足させ、官公庁関係者と本学の連携強化を行い、主に、中央官庁幹部、地方自治体首長、弁護士等の多彩な領域・立場で活躍する方々を講師に招き計16回の講演会を開催し、官学の連携強化を図るなど、積極的に取り組んでいる。 また、留学生相談室のスペースを大幅に拡張し、室の活動を充実させるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「法曹養成プレゼミ」の新規開講、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の実施、サバティカル制度の改定による研究環境の整備、「行政研究会」の発足、留学生相談室の活動の充実など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:経済学研究科・経済学部

項 目		コメン
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」が開始され、また、医療産業領域（MOM）における研究教育の拠点形成を目指して、工学研究科BE専攻および大阪大学国際医工情報(MEI) センターと連携しながら、Center for Management of Innovation（CMI:イノベーションマネジメントセンター）の活動を推進し、「イノベーション・マネジメント寄附講座」主催で公開寄附講義「ビジネス・イノベーション」（全15回）を開催するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、研究科による組織的な査読付き学術雑誌への論文執筆の奨励を行った結果、査読論文43本（うち34本は英文）の掲載を達成し、その効果として国際会議での発表を53件、受賞も国際会議関連を含む9件を記録するなど、顕著な成果を挙げている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、OFCを核として公開講座や講演会・シンポジウムを開催し、一般市民・社会人に対して積極的に学習機会を提供するとともに、国際交流室を中心に、新規で2件の部局間交流協定の締結、OB・OGネットワークを活用しての海外教育機関への訪問・広報活動の実施、国際共同研究を目的とした2件の合同ワークショップの実施など、積極的な国際交流活動を推進している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、国際交流室による国際交流活動の推進、情報室による情報収集・評価活動の推進、中長期委員会主導によるガバナンス機能の強化など、研究科内の各組織が積極的に活動しているといえる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の開始、CMIの活動を推進、研究科による組織的な査読付き学術雑誌への論文執筆の奨励、国際交流室による国際交流活動の推進など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:理学研究科・理学部

項 目		コメン ト
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、多様な進路に対応した大学院サブプログラム群からなる「高度博士人材養成プログラム」を実施するとともに、その中で優秀な学生を5年一貫博士コース学生とする「大学院オーナー特別コース」をスタートさせ、またダブルディグリープログラムを5大学と締結するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、医学系研究科、核物理研究センターとの協力のもとに、概算要求プロジェクト「医理連携による進行がん治療のための国際医療拠点形成事業」を開始し、本事業は他研究機関が追随しようとする模範的事業として外部から高く評価されるなど、大学の実績として評価できる。 また、基礎理学プロジェクト研究センターを改組し、「重点研究推進部門」で研究科主導の中・長期的なプロジェクトを推進し、「挑戦的研究部門」で挑戦的・萌芽的な研究を推進する新たな枠組みを構築するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、改組した企画推進本部に配置したURAにより積極的な広報・社会学連携活動を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、省エネ・節電に取り組み、電力使用量は前年度比7.3%削減に成功したほか、入学式の後に、学部新入生保護者懇談会を実施するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「大学院オーナー特別コース」の開始、「医理連携による進行がん治療のための国際医療拠点形成事業」の開始、基礎理学プロジェクト研究センターの改組など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、上回って達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:医学系研究科・医学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、高度副プログラム「スポーツ医科学研究プログラム」、「在宅医療の充実における看取り向上のための検案能の涵養」、「医学倫理・研究ガバナンスプログラム」「医学統計」を新設し、明確なキャリアパスに基づく教育プログラムを充実させるなど、大学の年度計画達成に貢献している。 また、岸本奨学金を受給した学生、OBを対象にした同窓会を設立し、相互の情報交換を可能にするなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、記憶情報が脳内で表現される機構の解明 (Cell Reports誌)、ミトコンドリア分解に関わる新規分子の同定と機能解析 (Nature Communications誌) など、多数のハイインパクトジャーナルへの掲載を果たすなど、大学の実績として評価できる。 また、理学研究科、核物理研究センターとの協力のもとに、概算要求プロジェクト「医理連携による進行がん治療のための国際医療拠点形成事業」事業を開始し、本事業は他研究機関が追随しようとする模範的事業として外部から高く評価されるなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、研究科の将来構想を検討する研究科長の諮問委員会として将来計画委員会を設置し、執行部打合せでその報告を受けるとともに、議論を深める体制を整備するなど、積極的に取り組んでいる。 また、寄附講座・共同研究講座教授会を新たに設置し、研究科内の動向の周知、注意喚起事項の徹底を図るとともに、意見交換を行うことにより、迅速で機能的な業務運営を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、4件の高度副プログラムの新設、岸本奨学金受給者による同窓会の設置、多数の研究成果のハイインパクトジャーナルへの掲載、将来計画委員会の設置など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、上回って達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 医学系研究科・医学部(保健学)

項 目		コメン
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、関西地区の7大学と連携し、全国で唯一のがんに関するすべての医療職者の養成を行う「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に取り組むなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、外部資金等によるプロジェクト研究を多数推進しており、大学の実績として評価できる。また、産前産後を含めて代替教員を配置し産休や育休が取りやすい環境整備を行うなど、女性教員がキャリアを継続しやすい支援策を推進している。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、大阪大学医学系研究科附属ツインリサーチセンター主催で一般市民対象の「ふたごフェスティバル2015」を開催し、成人及び子供の双子が参加して、意見交換を行い、報道等に多数取り上げられるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、関西地区の7大学連携による「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の実施、多彩な外部資金等によるプロジェクト研究の推進、一般市民対象の「ふたごフェスティバル2015」の開催など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 医学部附属病院

項 目	コメント
附属病院に関する項目 (大学の年度計画: 16~18)	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 (1) 教育・研究面 平成27年度は、未来医療開発部を中心に進めてきたトランスレーショナルリサーチの活動の中で、心臓血管外科のシーズとして開発を進めてきたハートシートが、企業からの薬事承認申請により、世界初の心臓再生医療製品として承認が得られ保険収載され、また、平成27年8月に、これまでの実績、質の高い臨床研究を実施できる体制、十分な人員、他の医療機関をサポートする能力などが評価され、厚生労働大臣により日本初の医療法上の臨床研究中核病院の認可を受けるなど、大学の実績として評価できる。 (2) 診療面 平成27年度は、胎児診断治療センターを設置し、院内の胎児疾患において関連部署が連携し、包括的な診断及び治療が可能な体制を構築するとともに、難病医療推進センターを設置し、難病に関するより適切な情報の提供、治験あるいは臨床研究の推進、治療法の開発を含む今後の難病対策を発展させる体制を構築するなど、積極的に取り組んでいる。 また、血液検査・診察・治療のすべてを一括して実施し、患者の利便性の向上に資するために、オンコロジーセンター棟を開設したことにより、外来化学療法のための病床を19床から42床に倍増させるとともに、新たに「がん患者・家族相談室」や「患者サロン」、「がん登録室」を設置したことにより、地域がん診療連携拠点病院としての機能も充実させるなど、大学の年度計画達成に貢献している。 (3) 運営面 平成27年度は、事務部に教育研究支援課を設置し、臨床試験の実施に係る研究倫理審査等へのサポート体制の強化を図ったこと、臨床検査の国際規格であるISO15189の認定を、臨床検査部のみならず輸血部、病理部、放射線部及び超音波センターといった広範囲の部門で取得したこと、病院機能の向上に向けた取組みの結果、診療単価の上昇、請求額の大幅な増加につながったことなど、積極的に取り組んでいる。 また、国際医療センターを中心に、外国人対応マニュアルの作成等インバウンドの基盤整備を実施するとともに、その体制について病院職員への周知・教育を行い、外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)を受審し、国立大学附属病院として初となる認定を得るなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況	【中期計画の達成状況】 中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:歯学研究科・歯学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、学部学生の教育の支援と教育プログラムの開発を目的として、歯学部附属歯学教育開発センターの設置準備を行い、平成28年9月1日に開設予定とするなど、大学の年度計画達成に貢献している。 また、経済困窮者を対象に、歯学部独自の奨学金制度を設置し、平成28年度から実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、寄生虫感染に対する免疫応答に関わる重要な負の制御因子の発見についてPNAS誌(米国科学アカデミー紀要)に発表するとともに、軟骨内骨化に關与する必須因子の同定をNature Communications誌に発表するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、平成15年度から毎年開催している市民フォーラムを「口の病気で困る、その前に」と題して開催し、ほぼ満席近くの参加者を得るなど、社会学連携に関して積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、歯学部附属歯学教育開発センターの設置準備、成績に依らない歯学部独自の奨学制度の設置、多数の参加者を得た市民フォーラムの開催など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:歯学部附属病院

項 目	コメント
附属病院に関する項目 (大学の年度計画:16~18)	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 (1) 教育・研究面 平成27年度は、研修医教育の中に、地域在住や施設の高齢者に対する歯科医療の実態を体験、実習できるプログラムを加えて試行を行い、平成28年度から正式採用することを決めるなど、積極的に取り組んでいる。 また、国際歯科医療センターの活動を開始して、海外からの歯科学学生並びに歯科医師の見学、研修をより積極的に受け入れる体制を構築するなど、積極的に取り組んでいる。 (2) 診療面 平成27年度は、曜日ならびに診療科目を限定した診療時間の延長を開始し、毎週100名以上の患者数を増加させるとともに、国際歯科医療センターの活動を開始して、外国籍の患者へのサポートを改善し、年間100名を超える来院を記録するなど、大学の実績として評価できる。 また、高度先進歯科医療のうちインプラント治療の件数を維持しつつ、歯周組織再生及び顕微鏡根管処置の実施数をそれぞれ平均30~50件増加させるなど、大学の実績として評価できる。 さらに近未来医療センターと口唇裂・口蓋裂・口腔顔面成育治療センターによる診療科横断的治療は先進的包括医療として報道されるなど、積極的に取り組んでいる。 (3) 運営面 平成27年度は、患者用立体駐車場の建設並びに路線バスのエンドループの移設誘致の具体的な準備、設計、矯正科における近年の患者数の増加と学童期の患者に対するアメニティ向上に対応することを目的とした診療室の改修、附属病院再開発の具体的な計画の立案開始など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況	【中期計画の達成状況】 中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:薬学研究科・薬学部

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、特別経費「先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発」の事業実施主体として、多様化する医療に的確に対応し、指導的な立場で活躍できる“先導的な薬剤師”を輩出することを目的に、薬剤師養成教育の高度化・実質化を可能にする教育プログラムを全国立大学薬学部14校で連携して実施するなど、積極的に取り組んでいる。 また、文科省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」により、新たに薬学研究科附属薬学地域医療教育研究センターを中心に大阪府下3市における医療機関・組織、行政等との連携による“薬学地域医療教育研究推進コンソーシアム”を形成し、これを基盤として地域医療で活躍できる薬剤師養成に向けた教育プログラムを開発・実施するなど、積極的な教育活動を展開している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、文部科学省創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業（創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業）「構造展開ユニット」に新規採択され、創薬研究の基盤構築を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、企業の支援により「マルホ大学院生等海外派遣事業」を行い、国際学会での研究成果報告を行う大学院生22名を支援するなど、国際化に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、准教授以下の教員で構成される将来構想WGを設置し、若手教員による将来への構想の取りまとめや意見提言を可能にする制度を構築するなど、部局運営方法の改善に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、特別経費「先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発」の事業実施主体として、全国立大学薬学部14校連携での教育プログラムの実施、文科省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」による新たなコンソーシアムの形成、文科省事業「構造展開ユニット」の新規採択、准教授以下の教員で構成される将来構想WGの設置など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:工学研究科・工学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、学部及び大学院のカリキュラムにおいて「インターンシップ」の授業科目を開設するとともに、課外教育としての「インターンシップ」を推奨する等、社会人力を有し、幅広い学際的視野とグローバルな視点を有する創造性のあるリーダーとなる技術者・研究者の育成に積極的に取り組んでいる。 また、新規英語コース（ケミカルサイエンスコース）の立ち上げにより、合計4つの英語特別プログラムを運営し、ダブルディグリープログラムを修士課程5大学・博士課程4大学と締結するなど、教育の国際化に貢献している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、戦略支援部が競争的資金の獲得に向けて研究者支援を推進した結果、「SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）」や「ImPACT（革新的研究開発推進プログラム）」等の大型プロジェクトに採択される等、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、Center of Innovation (COI) の推進を目的として、「オープンイノベーション交流会」を全学単位で開催し、産学官融合の醸成を図るなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、共同研究講座・協働研究所におけるシンポジウム及び交流会の開催のみならず、多数の外部資金による任期付き教職員、招へい教員を受け入れるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、教育面において、新規英語コース（ケミカルサイエンスコース）を含めた合計4つの英語コースの運営や、研究面において、「SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）」や「ImPACT（革新的研究開発推進プログラム）」などの大型研究プロジェクトへの採択など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:基礎工学研究科・基礎工学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、文部科学省大学間連携共同教育推進事業の取組「データに基づく課題解決型人材育成に資する統計教育質保証」に参画し、学内で「統計検定（日本統計学会公式認定）」を2回実施し、延べ334名の本学学部学生・大学院生が受験するとともに、関連する高度副プログラムに授業科目を新規で開講するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、文部科学省より概算要求事項「『スピントロニクス学術研究基盤と連携ネットワーク』拠点の整備」の予算伝達を受け、附属スピントロニクス学術連携研究教育センターの設置準備を進めるなど、積極的に取り組んでおり、他に日本化学会賞や日本学術振興会賞を受賞するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、SEEDSプログラムの一環として、基礎工学部第37回公開講座「未来を拓く先端科学技術」を開催し、高校生から80歳代まで幅広い年代の186名（男性142名、女性44名。うち高校生は41名）が参加するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、全国で新規に展開される卓越研究員事業に積極的に参画し、助教ポスト1を提示、公開するとともに、文部科学省科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業『京阪神次世代グローバル研究リーダー育成プログラム』に参画し、ボーダーレスな研究展開を行い得る若手研究人材育成を目的として、国際公募を経て特任助教（常勤）を雇用し、研究環境の整備等を図るなど、若手人材の育成に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、附属スピントロニクス学術連携研究教育センターの設置準備の推進、卓越研究員事業及び文部科学省科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業等への参画による人材採用など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、上回って達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 言語文化研究科

項 目		コメ ント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、「スーパーグローバル大学創成支援事業」の一環として、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」を実施し、学部副専攻プログラム及びアカデミック・イングリッシュ・サポートデスクのトライアル実施を行うなど、積極的に取り組んでいる。 また、スーパーグローバル大学創成支援事業の予算によるTOEFL-ITP受験を、1年次生全員から1・2年次生全員に対象を拡大して実施し、その結果に基づく習熟度別クラス編成を行うとともに、共通教育の外国語上級科目8科目(5言語)を「知のジムナスティックス科目」として開講し、高習熟度の学生を対象とした共通教育の英語上級科目を、平成26年度の8コマから37コマに増強して開講し、本学学生の言語教育の高度化を図るなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、「言語文化共同研究プロジェクト」を22件企画し、これらにRA経費や研究成果報告書出版の予算を配分したほか、「特別研究支援制度」と「海外調査研究教育支援制度」により、8件の国際的な共同研究を支援するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、接合科学研究所と共同の概算要求プロジェクト「広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業—カップリング・インターンシップによる実践形グローバル人材形成」におけるカップリング・インターンシップを、対象国を8カ国に拡大して実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 計画14-2-1「エラスムス・ムンドゥス等の国際大学コンソーシアムにパートナー校として積極的に参加し、教員および学生の交流を図る。」という年度計画が実施されていないようだが、年度計画の策定にあたっては、状況を踏まえ、確実な計画立案が望まれる。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、研究科の諸規程を改正することにより、研究科の運営を強化する体制を整えるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の実施、英語教育の充実、カップリング・インターンシップの拡大実施など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:国際公共政策研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、高校生に課題研究報告の機会を与える『国際公共政策コンファレンス』を新たに開催するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、海外の大学・関係機関等（グローニンゲン大学やEU等、東アジアの大学等）との共同研究やセミナー、公開講座等、クロスアポイントメント制度を活用した共同研究者の受入れ等を推進し、新たな共同研究先の開拓にも努めるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、本学の新ガイドラインを踏まえたダブルディグリー制度を他部局に先がけてグローニンゲン大学、デ・ラ・サール大学との間で締結し、学生の受け入れを開始するとともに、超短期プログラムを設定し、学術交流協定を締結した慶熙大学校から27名の学生を受け入れ、さらに、「大学の世界展開力強化事業」により単位互換協定を締結した海外6大学の学生18名に対して新たに超短期プログラムを実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、『国際公共政策コンファレンス』の新規開催、本学の新ガイドラインに基づいたダブルディグリー制度の締結・実施など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 情報科学研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、文部科学省の情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業「分野・地域を越えた実践的情報教育協働NW (enPiT)」の代表校として、14大学と連携して推進するなど、積極的に取り組んでいる。 また、ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムにおいて、種々の教育プログラムの実施を継続しており、プログラムの中間評価において計画を超えた取り組みとして最高評価の「S」を得るなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、次世代IT基盤の構築を目指した「社会システム・サービスの最適化のためのIT統合システムの構築」を国立情報学研究所、北海道大学、大阪大学、九州大学と連携して実施し、多数の論文発表と表彰につなげており、また、類似コード辺検出に関する研究により科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）を受賞するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、オーストラリアMacquarie大学と情報科学研究科との共同指導による学位プログラム (Cotutelle) 実現に向け、両校のスタッフが相互に訪問し合い、締結に向けて急速に進展するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 平成26年度までではあるが、研究費の不正使用が行われていたことから、再発防止のための着実な取り組みの継続が求められる。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、文部科学省事業enPiTの推進、ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム中間評価での「S」評価獲得、オーストラリアMacquarie大学との学位プログラム (Cotutelle) 締結に向けての検討の推進など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度) に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 生命機能研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、リーディング大学院プログラム「ヒューマンウェアイノベーション」を活用し、学生主催の合宿研究交流会を開催することで、海外から大学院生や若手研究者を招へいし、本学の学生たちが異分野融合について議論する活動を支援し、また広報活動の拡充や4月の入試説明会やSkypeによる入試の面接などを実施し、受験者数が増加するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、基盤的研究の顕著な研究成果として査読付き論文数が158件に及び、Science誌、Nature Communications誌などインパクトファクターの高い雑誌に多数掲載されるとともに、文部科学大臣表彰若手科学者賞の受賞、Highly Cited Researchersへの選出など、顕著な研究成果が上がっている。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、学生主催の合宿形式異分野交流研究会をサマースクールとして開催し、海外から招へいした若手研究者及び学生17名と本学学生の研究交流を実施するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、会議資料の電子化、事務マニュアルの更新や共有などを行い、事務効率化を進めたことで、事務の超過勤務時間を昨年度より約46%削減するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、リーディング大学院プログラムを活用した学生主催のサマースクールの開催支援、多数の研究成果のインパクトファクターの高い雑誌への掲載と各種受賞等に加え、事務効率化推進による超過勤務時間の削減など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、上回って達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 高等司法研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、新たに「弁護実務」の科目において、智適塾のインターンに授業補助をしてもらう形でロールプレイの要素を取り込み実施した。また、部局独自のICTを活用し、WEB掲示板上で、在学生・修了生による質問に対してOB/OGの弁護士アドバイザーが回答した結果を保存し、ナレッジ・データベースを構築するシステム（OULS' SA（オルサ）掲示板）の本格的な運用を開始するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、平成23年度から継続しているスタッフ・ミーティングを8回開催し、特に、新任教員による研究内容の紹介や、サバティカルを利用した教員による最新の研究内容の紹介により分野を超えて問題意識を交流する場として活用するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 また、サバティカル制度をより有効に活用することを目的として、1年間のサバティカルを可能にするよう申し合わせの改正を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「弁護実務」の科目において、智適塾のインターンに授業補助を担当させたことや、1年間のサバティカルを可能にするための申し合わせの改正など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 連合小児発達学研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、大阪府との連携が進み、Gazefinder（社会性発達評価装置）の社会実装が当初の予定より大きく進み、府下6市町村に拡大したこと、子どもみんなプロジェクトが開始され、当初の計画以上に重点的研究領域への参加が推進されたことを受けて、COI STREAM（革新的イノベーション創出プログラム）の取り組みがJSTで評価され、追加予算を得たことなど、大学の実績として評価できる。 また、「健康発達医学寄附講座」の発展的解消後の新たな寄附講座として「先端治療・栄養学寄附講座」の設立が決定するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、堺市、池田市において、受託研究費が大きく増額されたこと、子どもみんなプロジェクトが開始され、連携教育委員会との緊密な連携が年度当初より飛躍的に進み、シンポジウムの開催等で、研究科の取り組みを拡大することに成功するなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、COI STREAMの取り組みがJSTで評価されたことによる追加予算の配分、新たな寄附講座「先端治療・栄養学寄附講座」の設立、子どもみんなプロジェクトの開始など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:微生物病研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、タイ感染症共同研究センターや大阪－マヒドン感染症センター等を利用して、タイ国メソッド中央病院およびウドンタニ病院にて、大学院生等の若手研究者及び若手医師に対して感染症研修を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、生殖医学研究に関する研究成果がScience誌に掲載され、いまだ実用化されていない男性避妊薬の開発につながる研究として国内主要新聞紙（日経・朝日・読売等）のみならずNewsweek（米）、LA Times（米）等多数の海外メディア計32紙で紹介されるとともに、3名の教員がトムソン・ロイター社が選ぶHighly Cited Researchersに選ばれるなど、着実な研究成果を挙げている。 また、共同利用・共同研究拠点としての取り組みが評価され、文科省による期末評価で最も高いS評価を得るなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、ASEANセンター、日本・タイ感染症共同研究センターと共同で、「第10回大阪大学バンコク公開講演会 感染症と私たちの健康」を開催するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、研究成果の著名な論文誌への掲載等、研究所研究者のHighly Cited Researchersへの選出、共同利用共同研究拠点事業におけるS評価の獲得、海外拠点との協力による公開講演会の開催など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:産業科学研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、阪大を含む5国立大学附置研究所によるネットワーク型共同研究拠点の下、新たな取組として長期滞在型COREラボを特定研究課題枠として推進するなど、積極的に取り組んでいる。 また、文科省による共同利用・共同研究拠点の期末評価において、最も高いS評価を得るなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、阪大（産研）発のベンチャー企業「株式会社Smart Primer」を設立し、遺伝子検査を格段に「簡単」「安価」にするPCR技術を提供することが可能になるなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、研究所内外の研究者交流を活性化するための交流スペース「サロン・ド・サンケン」を設置するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 また、定例記者会見の実施を軌道に乗せ、広報活動の効率化に取り組んだことにより、報道件数が前年の126件から236件（昨年比87%増加）へ大幅に増加するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、5国立大学附置研究所によるネットワーク型共同研究拠点の下、新たな取組として長期滞在型COREラボの推進、文科省による共同利用・共同研究拠点の期末評価におけるS評価獲得、交流スペース「サロン・ド・サンケン」の設置など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:蛋白質研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、Frontier@Labや部局間協定なども利用し、長期、短期の留学生を受け入れるとともに、学生については、海外での共同研究や研究発表等に送り出すなど、国際性の涵養に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、新規概算要求プロジェクト「マルチスケール構造生命科学の国際拠点形成事業」を策定し、H28年度から3年間の事業として採択されるとともに、当該事業の実施に必要な世界最新鋭のクライオ電子顕微鏡を導入するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、蛋白質研究所におけるマトリックス蛋白質研究から産まれたベンチャー企業「株式会社マトリクソーム」が、大阪大学ベンチャーキャピタルから投資を受け、再生医療の基盤となる細胞培養用基材の開発・販売及びソリューションを、研究所発の事業として開始するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、長期計画委員会の下に「研究分野・体制検討専門委員会」を設置して女性教員数の増加について議論を行った結果、2名の女性教授および3名の女性特任助教を採用するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、新規概算要求プロジェクトの採択、クライオ電子顕微鏡の導入、阪大発ベンチャーの事業開始、積極的な女性教員採用など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 社会経済研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、文科省による共同利用・共同研究拠点の期末評価において、最も高いS評価を得るなど、大学の実績として評価できる。 また、科研費（基盤S等）を利用した大規模アンケート調査の実施や多数の経済実験を実施し、国際学術誌に査読論文計7本を公開しており、さらに、全国から広く共同研究の公募を募り26件の研究課題を採択し活動するとともに、経済学の世界的な研究拠点として、世界の研究者コミュニティのために、国際的学術誌International Economic Reviewを、ペンシルヴァニア大学と共同編集するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、行動経済学研究の成果を社会に還元することを目的としたシンポジウム「小説の中の経済学」を開催するとともに、著書・マスメディアを通じて、経済学の最新の研究成果を社会に紹介し、学術的研究に基づいた現実の経済問題の解説を行うなど、積極的な社会貢献活動に取り組んでいる。また、「国際共同研究促進プログラム」により、特任研究員2名（インド、アメリカ）を雇用し、6名の研究者（アメリカ2名、中国2名、カナダ1名、トルコ1名）を招へいするなど、国際交流の推進を図った。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 計画24-1-1に対する達成状況が記載されていない。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、共同利用共同研究拠点事業におけるS評価の獲得、大型プロジェクト（基盤S等）による大規模アンケート調査や多数の経済実験の実施、シンポジウム「小説の中の経済学」の開催、著書・マスメディアを通じて経済学の最新の研究成果を社会に還元するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 各年度計画の達成状況を漏れなく記載し、自己評価を行うこと。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 接合科学研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、溶接・接合分野に関する教材・データベースとして、デジタルコミック「浪速博士の溶接がってん!R」をインターネット上で広く公開し、スマートフォンやタブレット端末でも閲覧可能にするなど、積極的に取り組んでおり、年間約2万件のアクセスを得るなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、東北大学金属材料研究所、東京工業大学応用セラミックス研究所、名古屋大学エコトピア科学研究所、東京医科歯科大学生体材料工学研究所、早稲田大学ナノ理工学研究機構との連携による「学際・国際的高度人材育成ライフイノベーションマテリアル創製共同研究プロジェクト」が採択されるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、本学言語文化研究科等と連携して、文部科学省による「広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業ーカップリング・インターンシップによる実践型グローバル人材育成ー」プロジェクトを推進し、8ヵ国8機関でカップリング・インターンシップを実施し、実践型グローバル人材を育成するなど、積極的に取り組んでいる。 また、文部科学省特別経費「広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業」により、新たにマレーシアペリス大学、イスタンブール工科大学の2機関と学術交流協定を締結するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、第3期中期計画に向けて、大規模な改組を計画し、また当初の予定を1年前倒しして研究所独自の外部評価を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「浪速博士の溶接がってん!R」のデジタルコンテンツ整備、新規共同研究プロジェクト「学際・国際的高度人材育成ライフイノベーションマテリアル創製共同研究プロジェクト」の採択、8ヵ国8機関でのカップリング・インターンシップの実施、外部評価の早期実施など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、上回って達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:低温センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、豊中分室のヘリウム液化装置について、一部の設備更新と調整を行うとともに、年度末に再稼働し、より安定した液体ヘリウムの供給体制が維持できる予定であり、また、液体ヘリウムを利用する研究者間の交流を活性化するためのサーキュラーの発刊を継続するなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、液体ヘリウム製造装置、およびヘリウムガス回収装置を厳しく管理し、適切な整備を行い、また、安全衛生管理部と協力し、安全衛生集中講習会にて安全講習を行うなど、安全管理に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、豊中分室のヘリウム液化装置の一部更新など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 超高压電子顕微鏡センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、物質・生命科学超高压電子顕微鏡装置の運用を開始し、材料科学研究における高時空間分解能でのその場観察、3次元立体構造を高速観察するための研究基盤を確立し、多くの招待講演の実績を挙げるとともに、超高压電子顕微鏡連携ステーション(第Ⅱ期)の6年間の活動を基盤にし、超高压電子顕微鏡と放射光分析による異なる大型装置の有機的な共同利用と異分野の学術領域の融合を目指した新たな共同利用・共同研究の連携ネットワークの取り組みである「超顕微科学研究拠点事業」をH28年度から展開する体制を構築するなど、大学の実績として評価できる。また、学内外研究者の共同利用・共同研究及び文科省「ナノテクノロジープラットフォーム事業」による研究支援活動により、予定を大きく上回る研究課題を受け入れて、多くの(78件)の論文発表を含む研究成果を挙げていることは評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、新たな共同利用・共同研究の連携ネットワークの取り組みである「超顕微科学研究拠点事業」の体制構築など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:ラジオアイソトープ総合センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、豊中市消防署員への放射線安全教育講習会を3回実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、豊中市消防署員への放射線安全教育講習会の複数回実施など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:環境安全研究管理センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、全学すべての所有薬品の登録を目指す薬品管理支援システム(OCCS)において、登録数が25.2万件まで増加するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、OCCSにおける薬品の登録数が25.2万件まで増加するなど、積極的に取り組んでいる 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:国際教育交流センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、留学経験を可視化し単位付与体制を整備するための学習記録システム「留学ポートフォリオ」システムを運用するとともに、学習支援システム「MenTOR」を含む語学文化学習プロジェクト「HELP!」を運用するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「留学ポートフォリオ」システムの運用、語学文化学習プロジェクト「HELP!」の運用など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 生物工学国際交流センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、日本学生支援機構（JASSO） 留学生交流支援制度により、工学研究科応用生物工学専攻の約半数の学生を海外へ派遣するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、東南アジア諸国の研究者とのネットワーク活用により、引き続き東南アジア諸国の生物資源の有効利用に向けた国際共同研究を強化し、学術論文の発表に結びつけるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、大阪大学工学研究科生命先端工学専攻生物工学コース、大阪大学・島津分析イノベーション共同研究講座と共同して、タイ・バンコクでFrontier in Biotechnology "from Metabolites to Regenerative Cells"に 関する合同シンポジウムを開催するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、JASSO留学生交流支援制度による学生の海外派遣、東南アジア諸国との国際共同研究の強化など積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:太陽エネルギー化学研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、世界に先駆けて開発した有機光触媒による水と酸素から過酸化水素を合成する反応の開発を進め、人工光合成反応で世界最高効率を達成するなど、大学の実績として評価できる。 また、新教授着任に伴い、新たな研究分野を立ち上げ、生化学等の視点を取り込んだ新しい光-電気-化学エネルギー変換材料および変換システムの創成に関する研究を開始するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、共同研究・受託研究・奨学寄附金の総額が前年度実績の2倍以上となり、研究が順調に進行しており、特許出願数も前年実績から倍増するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、外部資金の獲得総額が前年度の1.6倍、前々年度の2.5倍になるなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、世界最高効率の人工光合成反応の達成、外部資金獲得額・特許出願数の増加など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:総合学術博物館

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、展覧会をはじめ、サイエンスカフェや自然観察会、小学生理科教室、講演会、高等学校等や外国賓客の団体見学など、学内のみならず受験者を含む幅広い社会に対して大阪大学への理解を深めてもらうために、さまざまな情報発信を行っており、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、科研費基盤研究Aの成果報告として、企画展「金銅仏きららし いにしへの技にせまる」および第8回特別展「待兼山少年—大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室—」を企画・実施し、合計で1万名近くのきわめて多くの入場者を集めるなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、積極的にアウトリーチ活動を行うとともに、株式会社海遊館と連携協力に関する包括協定を締結し、今後、双方でセミナー等を実施することにより、大阪大学及び博物館の認知度の向上や社会連携活動の更なる活性化につながる新たな道筋を作るなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、豊中市補助金: 1件、100万円、文化庁「大学を活用する文化芸術推進事業」(「記憶の劇場-大学博物館を活用する文化芸術ファシリテーター育成講座」: 20,400千円)に申請し、採択されるなど、積極的に取り組んでいる。また、特別展「待兼山少年」、夏期特集展覧会「藍と薬のめぐりあい」、企画展「金銅仏きららし」などのイベントを開催して多数の入館者を得るなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、企画展「金銅仏きららし いにしへの技にせまる」、特別展「待兼山少年—大学と地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室—」の開催、海遊館との連携協力に関する包括協定締結、豊中市及び文化庁の補助金事業の採択など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:保健センター

項 目		コ メ ン ト
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、センターの学生相談室とキャンパスライフ支援センターでワーキンググループを組織し、本学の障がい学生支援システムを構築し、ガイドラインを作成するとともに、各部局の相談窓口担当者によるフロントスタッフミーティングを2回開催し、問題意識の共有と意見交換を行って連携・支援体制を強化するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、特殊業務従事者健康診断の自覚症状の問診について、Web上で回答ができるようにし、また、職員健診の予約もWeb上で実施した結果、利用者の利便性が高まるとともに、大幅な事務効率化が実現されるなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、キャンパスライフ支援センターと共同での障がい学生支援システムの構築、健康診断業務のWeb化など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:国際医工情報センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、クリニカルリサーチプロフェッショナル育成コースを発展させ、一般社団法人日本製薬医学会と連携して、EUにおける製薬医学の標準教育プログラムPharmaTrainのカリキュラムに準拠した、EU以外で初めてCenter of Excellence(CoE)として認証を受けた教育プログラムを実施し、日本発の医療機器開発を目指したバイオデザイン教育プログラムとしてジャパンバイオデザインを支援するなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、寄附金を原資にした寄附研究部門「臨床神経医工学寄附研究部門」の設置準備を進め、承認を得るなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、クリニカルリサーチプロフェッショナル育成コースを発展させ、EU以外で初めてCenter of Excellence(CoE)として認証を受けた教育プログラムの実施、新たな寄附研究部門の設置など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:コミュニケーションデザインセンター

項 目		コ メ ン ト
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、ラボカフェなどの学外でのワークショップを開催・運営し、ワークショップ形式の授業の一部を資料化し、ホームページで公開しており、次年度の授業に活用予定とするなど、大学の年度計画達成に貢献している。 また、全学向けFDとして、CSCD10周年記念ラウンドテーブル「越境する力(教養)ーこれからの大学における高度教養教育の可能性と課題」を開催するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、センター11年を総括する共同研究プロジェクトとして予算を重点的に配分し、論考13件、インタビュー8件を含む論集《Communication-Design 2005-2015》を編集・発行するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、21世紀懐徳堂、NPO、京阪電鉄(株)と連携し、京阪電車中之島線「なにわ橋駅」地下1階「アートエリアB1」で開催する「ラボカフェ」や「カフェイマージュ」「中之島哲学コレージュ」「釜展」展覧会・コンサート等の運営に協力するとともに、対話型カフェや文化事業等の実施を通して地域社会との連携を深めるなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、ラボカフェなど学外ワークショップの実施、全学向けFD「CSCD10周年記念ラウンドテーブル」の開催、センター11年を総括する論集《Communication-Design 2005-2015》の編集・発行など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 数理・データ科学教育研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、金融・保険教育研究センターから改組された数理・データ科学教育研究センターの下、従来からの大学院高度副プログラム「金融・保険」教育プログラムに加え、「数理モデル」教育プログラム、「データ科学」教育プログラムの2つの大学院高度副プログラムを新たに開設するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、概算要求特別経費事業「複雑システム解析のための次世代数理・データ科学人材育成」が採択されるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、数理・データ科学教育研究センターの立ち上げ、新たな高度副プログラムの開設、新規概算要求事項の採択など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:科学機器リノベーション・工作支援センター

項 目		コ メ ン ト
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、機器利用者が分析機器に関する知識と理解を深めることを目的にeラーニングシステムの構築を進め、平成28年度からは機器利用者にeラーニングによる技術支援サービスを提供可能にするなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、eラーニングによる技術支援サービスの構築など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: グローバルコラボレーションセンター

項 目		コメン
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、海外フィールドスタディを計5プログラム実施し、様々な助成プログラムを活用して、派遣学生に渡航費の一部補助を行っており、また、協定校との交換留学・短期語学研修の他、グローバルコラボレーションセンター支援の下、各部局のプログラムで日本人学生の海外派遣を推進した結果、平成27年度は1,529名（前年度1,494名）へと増加するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、AMED/JICA地球規模課題対応国際科学技術協力「薬剤耐性細菌発生機構の解明と食品管理における耐性菌モニタリングシステムの開発」（ベトナム国立栄養院との共同研究）を代表機関として継続実施し、JICAによる中間評価で好評価を得るなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、運営費交付金を活用した海外インターンシップ助成を実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、海外フィールドスタディ及び海外インターンシップの実施、大型の国際共同研究プロジェクト推進による中間評価での高評価の獲得など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 日本語日本文化教育センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、「海外在住私費外国人留学生特別入試」に合格した学部入学予定者を対象に、10月から私費学部留学生予備教育プログラムの提供を開始するなど、大学の留学生受入れ施策に貢献している。 また、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）等を参考にして開発し、秋学期から新たに導入した独自の日本語能力評価基準に基づいて、プレースメントテストの実施方法の改善や、国費日本語・日本文化研修留学生プログラム及び短期留学日本語日本文化特別プログラムのカリキュラムの変更を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、平成28年度以降の教育関係共同利用拠点の再認定を申請し、文部科学大臣による採択を得るなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、第2期中期目標・中期計画期間の最終年度に合わせる形で、センターの3つのプログラムと教育関係共同利用拠点事業に関する外部評価を実施し、プログラム・事業内容を多角的に検証する機会を設け、組織評価の充実を図るなど、積極的に実施している。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、私費学部留学生予備教育プログラムの提供開始、カリキュラムの見直し、平成28年度以降の教育関係共同利用拠点としての再認定、3つのプログラムと教育関係共同利用拠点事業に関する外部評価の実施など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:環境イノベーションデザインセンター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、高度副プログラム「環境イノベーションデザイン学」において、学際性の高いトピックをテーマにフィールド調査やワークショップを取り入れた双方向型の授業を学内の異分野の教員が連携しながら開講(3科目)するなど教育内容を充実させるとともに、東京大学、京都大学、北海道大学、茨城大学との連携で各大学における先端的なサステナビリティ研究とその構造を学習する英語授業を遠隔講義システムを用いて開講することで、大学間の連携を強化するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、メゾ研究を実践につなげるFuture design研究を実施、競争的外部資金を獲得し、吹田市、岩手県矢巾町などの自治体との共同研究を推進するとともに、メゾ領域研究成果をまとめ社会に発信するための書籍を大阪大学出版会から出版するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、低炭素キャンパスの実現のため、大学施設のエネルギー消費実態に関する研究やアウトリーチ活動を行うと共に、本部事務機構の環境・エネルギー管理部と連携し、大学全体の省エネルギー活動やESCO事業の推進等に取り組んだ結果、これらの取り組みが評価され、平成27年度CAS-netJAPANサステイナブルキャンパス賞奨励賞、省エネ大賞資源エネルギー庁長官賞、おおさかストップ温暖化賞大阪府知事賞を受賞するなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、高度副プログラム「環境イノベーションデザイン学」の内容充実、Future design研究の実施、競争的外部資金の獲得、平成27年度CAS-netJAPANサステイナブルキャンパス賞奨励賞、省エネ大賞資源エネルギー庁長官賞、おおさかストップ温暖化賞大阪府知事賞の受賞など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:ナノサイエンスデザイン教育研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、ナノサイエンスに関する相互配信遠隔講義をオランダ・グローニンゲン大学との間で4回行い、マレーシア科学大学にも中継し、毎回30名余りが参加するなど、大学の年度計画達成に貢献している。また、平成26年度は筑波大学からのTV中継のみであった夏の学校を本格的に共同開催し、2名の海外教員を招へいするとともに、合計4コマ、10回ずつのシリーズ講義を、新たに国際ナノ理工学特論Aとして科目設定し開講するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、4大学・研究所連携の科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業(次世代研究者育成プログラム)『計算物質科学人材育成コンソーシアム』事業が採択され、また、平成28年度概算要求(機能強化経費)「産学共同によるイノベーション創出高度人材育成推進」が採択されるなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、ナノサイエンスに関する相互配信遠隔講義の実施、夏の学校の本格的な共同開催、4大学・研究所連携の科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業及び平成28年度概算要求(機能強化経費)の採択など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:知的財産センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、知的財産法プログラム特別コースが文部科学省認定の職業実践力育成プログラム（BP）に採択されたほか、法律系以外の学生にも理解しやすい教科書を出版し、カリキュラムを工夫改善することで全学への知的財産教育を普及させるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、学内助成の対象になった大規模国際シンポジウム「日仏知財アカデミックカンファレンス」の開催、中国の研究機関との共同研究の実施、また、知的財産センターの研究者による海外研究機関での研究報告の実施など、海外研究機関及び研究者との交流を深めており、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、国内外の法曹関係者が参加するシンポジウムの実施、官庁関係者等の公開講義の共催のほか、特色のある国内外他大学と共催でシンポジウム等も実施し、知的財産教育の普及活動の範囲を着実に広げるなど積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、知的財産法プログラム特別コースの文部科学省認定職業実践力育成プログラム（BP）への採択、各種国際シンポジウム等の開催、国際共同研究の実施など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:核物理研究センター

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、最先端の大型研究施設であるサイクロترون実験装置において、教育用ビームタイムを割り当て、大学の枠を超えた学部学生の教育を行うとともに、医学系研究科と連携協力して医学物理士養成のための講義を行い、臨床現場での応用力・実践力などの養成を目指すなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、医学系研究科、理学研究科との協力のもとに、概算要求プロジェクト「医理連携による進行がん治療のための国際医療拠点形成事業」を開始し、本事業は他研究機関が追随しようとする模範的事業として外部から高く評価されるなど、大学の実績として評価できる。また、大強度ミュオン源に日本初の定常ミュオンビームラインを利用し、ミュオンX線の試験測定に成功したことで、高エネルギー加速器研究機構・加速器科学研究奨励会奨励賞の西川賞を受賞するなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流 【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、クロス・アポイントメント制度により、常勤2名及び海外より6名の著名な研究者を受け入れたほか、大阪府の主催する「おおさかストップ温暖化賞」において、センターの太陽光発電やESCO事業の設備を対象とした取組に対し、温室効果ガス及び人工排熱の排出抑制並びに電気需要の平準化が評価され、最優秀賞「大阪府知事賞」が大阪大学に授与されるなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況	【特記事項】 平成27年度は、医学系研究科との連携協力による医学物理士養成のための講義実施、ミュオンX線の試験測定の成功による高エネルギー加速器研究機構・加速器科学研究奨励会奨励賞「西川賞」の受賞、センターの太陽光発電やESCO事業の設備を対象とした取組に対しての「おおさかストップ温暖化賞」最優秀賞「大阪府知事賞」の受賞など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況	中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:サイバーメディアセンター

項 目		コ メ ン ト
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、サイバーメディアセンター吹田本館内に、同センターの情報技術を生かした自主的な学修及び研究活動を支援するためのアクティブラーニングスペースである「サイバーメディアcommons」を新設するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、大阪北梅田のグランフロント大阪に設置された可視化センターにて大規模可視化クラスタを用いた可視化サービス、遠隔講義を展開して産学連携を推進し、組み込みシステム産業振興機構、産業技術総合研究所、大学院情報科学研究科等との連携を通じて、可視化センターの高解像度遠隔講義配信システムを用いた組み込みシステム分野の人材育成プログラムを実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、「高校生のためのスーパーコンピューティングコンテスト(SuperCon2015)」を東京工業大学学術国際情報センターと共催し、本選に出場した上位20チームのうち西日本の10チーム29名の支援を行うとともに、ウェブサイト対応授業支援システム等の研究成果を用いて、言語文化研究科との共催で、インターネットにより遠隔でも参加可能な多言語の市民講座を開催するなど、大学の年度計画達成に貢献している。 また、データセンターの省エネに関するオープンイノベーション型の産学連携研究開発コンソーシアムを推進し、研究プロジェクトが環境大臣賞を受賞するなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、サーバ冷却の効率化に取組み、冷却設備のチューニング等により年度当初に比べおよそ20%のエネルギー効率の向上を図るとともに、センサー情報と連動して学習・自動制御により冷却設備の稼働最適化を行う装置を導入するなどの省エネへの取組が評価され、本学の「おおさかストップ温暖化賞(大阪府知事賞) 受賞に貢献するなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「サイバーメディアcommons」の新設、うめきた可視化センターにおける産学連携活動の推進、研究プロジェクトの環境大臣賞受賞、省エネ活動の推進による「おおさかストップ温暖化賞(大阪府知事賞) 受賞への貢献など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:レーザーエネルギー学研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、核融合科学研究所および国内外の大学等研究機関と連携し、高速点火核融合「FIREX-I」プロジェクトを推進し、高出力レーザーを用いた高エネルギー密度科学の研究分野をリードする国際的にもインパクトのある成果を多数挙げ、世界的な大型実験施設(米国、フランス、中国)での国際共同研究につなげるなど、大学の実績として評価できる。 また、LFEXレーザーに球面プラズマ鏡による集光照射を導入することによって、大型レーザーとしては未踏の10桁を超える高コントラストを実現し、世界トップレベルの実験環境を構築するなど、これも大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業において、随時課題採択に向けての技術相談を受けるとともに、トライアルユース12件、有償利用10件の課題を実施するなど、積極的に取り組んでいる。また、「光ビームプラットフォーム形成事業」において、全参加機関合同で平成27年度成果報告会を開催し、各先端研究基盤施設の利用成果を広く広報するとともに、放射光とレーザーの異なる技術分野の連携を図るなど、大学の年度計画達成に貢献している。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、「FIREX-I」プロジェクトの推進による多数の研究成果の創出、大型レーザーとして未踏の10桁を超える高コントラストの実現による世界トップレベルの実験環境の構築、成果報告会の開催による放射光とレーザーという異なる技術分野の連携推進など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:免疫学フロンティア研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、デュアルメンター制度の実施により、分野の異なる研究者をメンターとする若手研究者に対し、異分野融合研究推進のための経費支援を継続するなど、研究者育成活動に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、11名の外国人研究者を特任教員・研究員として雇用し、平成28年3月末時点で全研究者に占める外国人研究者の割合が約25%に達するなど、国際研究拠点の形成に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、シンガポール免疫ネットワーク (SIgN) との共催で"NIF Winter School on Advanced Immunology"を開催し、全世界から参加した49名の学生の研究発表・交流を実現するなど、国際交流活動に積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19~31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、デュアルメンター制度の実施による経費支援、多数の外国人研究者の雇用、シンガポール免疫ネットワークとの共催による研究交流会の開催など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22~27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名: 全学教育推進機構

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、高度教養教育として3年生以上の学部生対象科目として69科目、大学院生対象科目として321科目を開講するとともに、コラボレーティブ・イノベーション人材の育成を目指して平成26年度に設置した教養教育カリキュラム検討WGを継続し、学事暦変更及び高度教養教育の充実を含む共通教育カリキュラムの改革案を検討し、各部局との協議を行うなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 特になし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパスプログラムにおいて、予算額が最も高いタイプSに当該年度全国で一大学のみ採択されるなど、大学の実績として評価できる。 【留意事項】 特になし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、全学教育推進機構に副理事を長とする高大接続オフィスを設置し、本学の高大接続事業の効率化に向けて検討を進めるなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、教養教育カリキュラム検討WGの継続による学事暦変更及び高度教養教育の充実を含む共通教育カリキュラムの改革案の検討、科学技術振興機構グローバルサイエンスキャンパスプログラムタイプS採択、高大接続オフィスの設置など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。

達成状況評価書(平成27年度及び第2期中期目標期間)

部局名:教育学習支援センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 平成27年度は、過年度機材整備した対話型双方向授業環境であるHALC4教室の本格運営を開始し、平成26年度に比べて倍以上の48の授業で利用されるとともに、MOOC教材開発ユニットがedXプラットフォームからOsakaUxとしてMOOC教材3コースの配信を行い、2万人以上の受講登録者があるなど、積極的に取り組んでいる。また、授業方法指導プログラム(FD)を79回(587名の教員が参加)、コースデザインワークショップを年4回(39人参加)実施するなど、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 特になし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
3. その他 (大学の年度計画: 11～18)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	【年度計画の達成状況】 該当なし。 【特記事項】 該当なし。 【留意事項】 該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 19～31)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	【年度計画の達成状況】 平成27年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。 【特記事項】 特になし。 【留意事項】 計画26-1-1の達成状況が未記載。
5. 全体の項目に関する達成状況		【特記事項】 平成27年度は、HALC4教室の運営開始、MOOC教材3コースの配信など、積極的に取り組んでいる。 【留意事項】 計画の達成状況は漏れがないように記載すること。
6. 第2期中期目標期間 (平成22～27年度)に関する達成状況		中期計画は、達成されていると判断できる。